

# は じ め に

所 長 上 松 勝

この度、新潟市の地域素材「新潟市近郊の地層観察ガイド」を刊行しました。新潟市の児童が本書を活用して自然に親しみ、豊かな人間形成を図ることを期待いたします。

地層の観察というと、市内には観察できる場所がないのでバス等で出かけなければなりません。理科では直接経験が重要だとわかっているにもかかわらず、スライドや映画等を利用して学習を終わらせてしまうことが多かったのではないのでしょうか。また、出かけたのだが、児童生徒が安全に地層の観察ができる露頭がどこにあるのか知らないということもあったと思います。

本書は、新潟市から簡単に行ける場所で、児童生徒が安全に地層観察ができる露頭の調査を行いまとめました。学校週5日制にともない授業時数の確保から、行事の見直しが行われていますが、遠足を理科の授業にしたり、登山などの行事と重ね合わせて地層観察をしてはいかがでしょう。調査地は当センターの専門員の先生方が2年間かけて吟味しました。また、写真や図をできるだけ多くいれ、専門用語をさげ児童生徒の学習にいきるように編集しました。

最近「理科離れ」という言葉が新聞雑誌等で大きく取り上げられるようになってきました。理科においては「自然とふれあう」直接経験が特に大切であることが指摘されています。児童生徒が自然とふれあう中で、自然を注意深く観察し、そこから生まれた疑問をすじ道を立てて考えたり、確かめてみたりする力を養うことがこれからの教育に求められています。そのためには、教師と児童生徒が自然の中に出ることが必要です。是非本書に載っている観察地に実際に出かけられ、実物の地層学習が実施されますことを期待いたします。

最後に、時間を惜しまず調査研究を進めてくださった先生方始め、御指導御協力いただいた先生方に対し、深く感謝申し上げます。

平成7年3月